

## 特別賞(ふるさと賞)

### オリーブ通り整備事業

(表彰対象者：香川県土庄土木事務所)

#### 表彰の理由

この事業は、昭和40年に事業を開始したものの用地取得、漁業補償等が難航したが、ねばり強い交渉により完成にこぎつけたものである。事業の進捗とともに地元住民の理解と協力体制が整い、地元中学校の美術生徒のデザインにより、高欄歩道のレンガ舗装、親柱の修景等を行ったほか、「オリーブ通り」、「オリーブ橋」の名称も地元から寄せられたことなど、地元との一体性が評価の対象とされた。

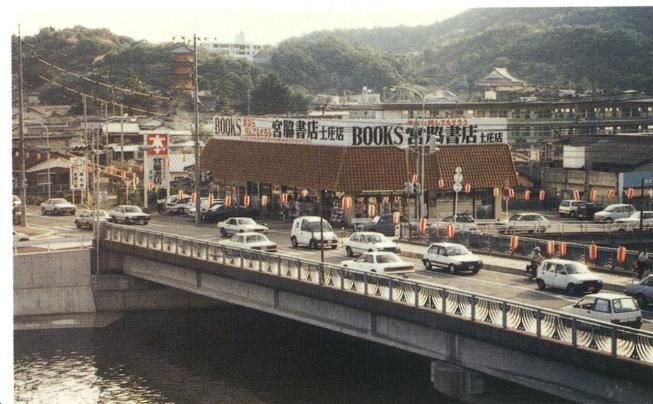
#### 事業のあらまし

この事業は、東港線整備事業の一環として行われたもので、土庄港から国道436号までの区間を整備する事業である。観光港として賑わう土庄港を中心とした土庄町北部の旧市街地の交通混雑を緩和し、その活性化を図るとともに、町南部の新しい骨格道路としての役割を果たすものである。

- 延長：1,844m
- 幅員：16m
- 事業費：1,000百万円
- 事業実施期間：昭和40年～平成元年3月



オリーブ通り



オリーブ大橋をのぞむ。



地元中学校の美術部の生徒と先生。オリーブ通りの修景はこの生徒達がデザインした。



地元中学校の美術部の生徒がデザインしたモザイク絵。  
(二十四の瞳)



（二十四の瞳）



全国街路事業コンクール特別賞「ふるさと賞」の賞状をオリーブ大橋に設置。



オリーブ通りを舞台に小豆島まつりを挙行。



#### 事業遂行上の工夫

この事業は昭和40年に事業を開始したものの用地取得、漁業補償等が難航したが、ねばり強い交渉により完成にこぎつけた。事業の進捗とともに地元住民の理解と協力体制が整い、地元中学校の美術部生徒のデザインにより、歩道のカラー歩舗、高欄親柱の修景を行った他、「オリーブ通り」の名称も地元住民から寄せられた。